

感染症 ひとくち情報

水痘の報告数が増加しています!



2019年7月4日
東京都健康安全研究センター

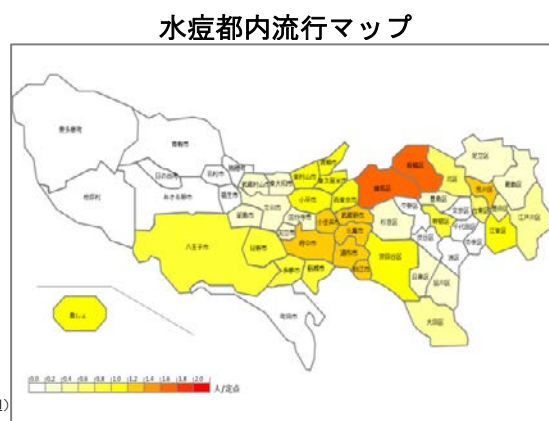
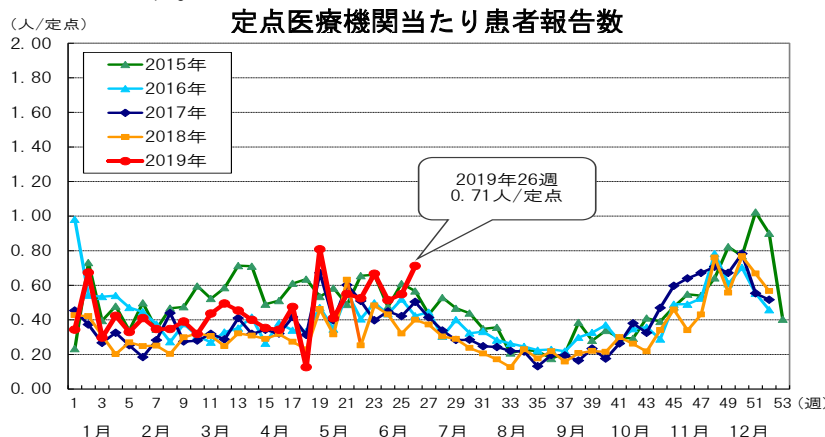
1. 水痘とは

水痘とは帯状疱疹ウイルスによる感染症で、一般的には「みずぼうそう」として知られています。潜伏期間は10日から21日で、発症すると38度前後の発熱、全身に直径3~5mm程度の発しんが出現します。発しんは紅斑からはじまり、丘しん（盛り上がった赤い発しん）、水泡（水ぶくれ）、痂皮（かさぶた）と変化し治ります。

数日にわたり新しい発しんが次々と出現するため、急性期には様々な段階の発しんが混在するのが特徴です。すべての発しんが痂皮になるまで6日程度かかります。成人では重症になることがあり、肺炎などの合併症も増えるという特徴があります。

2. 発生状況

2019年6月24日から6月30日（第26週）の1週間に水痘患者報告数が注意報基準（注意報レベルにある保健所の管轄する人口の合計が都全体の人口30%を超えた場合）を越えています。



3. 感染経路

感染経路は、咳やくしゃみなどのしぶきに含まれていたウイルスが空気中に漂い、そのウイルスを吸い込むことによる感染（空気感染）、ウイルスが含まれる咳やくしゃみなどのしぶきを吸い込むことによる感染（飛沫感染）、ウイルスが付着した手で口や鼻にふれることによる感染（接触感染）があります。

4. 予防について

有効な予防法は予防接種です。平成26（2014）年10月1日から水痘の予防接種は定期接種になり、対象期間（1歳~3歳未満：2回接種）の方の確実な接種が重要です。

また、水痘患者に接触した場合でも、3日以内にワクチンを接種することで、発病予防や症状を軽減できる可能性があるため、詳しくは医療機関に御相談ください。

日常的な感染予防は、集団生活ではおもちゃやタオルの共用を避け、子供の年齢に応じて、咳エチケットを心がけましょう。

